

地域おこし協力隊 蜂須景子の活動レポート (Vol.13)



◀地域おこし協力隊
インスタグラム

11月2日に、南阿蘇村で地域おこし協力隊の交流会が開催され、震災について学びました。私は当時、鹿児島県に住んでいて現場を見たことはありませんでしたが、南阿蘇の地域おこし協力隊から熊本地震の被害や復興の話聞き、涙をこらえるのに必死でした。慰霊碑に手を合わせて、ご冥福をお祈りしました。

また11月21日に開催した料理教室では、簡単調理でみなさん驚かれてました。ぐるぐるパンはレモンが効いて甘酸っぱく、ミックスナッツを入れてマヨネーズで味付けしたかぼちゃサラダは、とても美味しいと評判でした。



料理教室～簡単料理で里芋と豚肉のバターしょうゆ煮、簡単無限めか漬け風漬物、絶品ヨーグルト味噌汁～

- ◆日 時 1月22日(土)10時 ◆場 所 文化センター調理室 ◆参加費 500円(当日徴収)
- ◆申込方法 1月17日(月)までに氏名、電話番号をご連絡ください。(定員10人)
- ◆持参物 エプロン、三角巾、マスク、手ふきタオル、保冷バッグ(持ち帰り用) ☎ 地域おこし協力隊 ☎52-5854

庭の木でひねもす暮らす目白かな
西上宮 村内 一誠

初鵜野津毘沙門の空を飛ぶ
北野津 井田 道寛

注連作る力加減の男衆
西野津 古崎スエノ

花鮮む選ふ楽しさ籠の中
西野津 古崎 栄子

菊の花季節忘れず咲き初むる
吉本 高橋 澄子

俳句

初會孫抱きて友の微笑めば
眠りの中ゆ微笑むように
吉本 高橋 澄子

季は移り一枚となるカレンダーの
微かに揺れる十二月
西野津 古崎 栄子

玉葱植えの手伝いみんな子供まで
目当ては夕餉手作りバーグ
西野津 古崎スエノ

はらはらと山茶花散りて初茜
生垣染めつ輝けるかな
北野津 井田 道寛

新聞の死亡の欄の教え子は
中学二年のリレー代表
西上宮 村内 一誠

短歌

町民文芸

投稿に
ついて
・誤字防止のため楷書で記入し、漢字には全て読みがなをふって
投稿してください。
・電話番号を記載してください。
・毎月5日必着

投稿先
〒869-4814 氷川町島地642番地
企画財政課 企画係
☎52-5850

「雪国」VS「山の音」どっちが
法道寺 本田 花風

川端はそのフィナーレの天の河の七夕伝説を用いて、別れの時を暗示していることを作品の締めくくりに行っている。解説は「筋縄では理解できないが、小説とはこんなものかと思うような物語から始まっていく。

トンネルを抜けると雪国だった。
「島村(主人公)」は越後湯沢に向かう途中「病人の男」の世話をしていた「葉子」に惹かれ、駅に着くと半年前に出合った「駒子」が出迎えてくれた。島村は妻子がいるが、駒子に惹かれ彼女に会うため雪国にやってきた。島村が温泉場を訪れた時、芸者の手が足りなため、島村の部屋にきてお酌をしたのが見習の十九歳の駒子であった。その後まもなく駒子は芸者になった。島村は滞在中、毎晩駒子と過し、駒子はお座敷の合間、毎日島村の部屋に通ってきた。

三年後の秋、島村は再び温泉宿を訪れた。忙しいある晩、駒子は葉子に伝言を持って来させた。

島村は葉子と言葉を交わし、魅力を感じる。東京に行くつもりは、島村が帰るときに連れて行ってくれと頼み、「駒ちゃんを良くしてあげて下さい」といって「駒ちゃんは私が気がいになると言っんです」と葉子は泣きながら言った。

立神峡だより

今年一年さらに多くの観光客を呼び込み知名度向上に努力します

新年あけましておめでとうございます。皆さまにとりまして輝かしい新年をお迎えのことと思います。昨年は、コロナの影響で、観光地は軒並みキャンセルが相次ぎ、売り上げが大きく落ち込みその回復もままならない状況が2年近くも続き、今年こそという意気込みで臨んでいます。

今年は、指定管理者として7年目を迎えます。当初と比較して立神峡公園の知名度は飛躍的に高まっており、特に、昨年はNHKテレビで九州各地に放映されたり、まさやんのRKKテレビへの放映などマスコミにも大きく取り上げられた年でもありました。

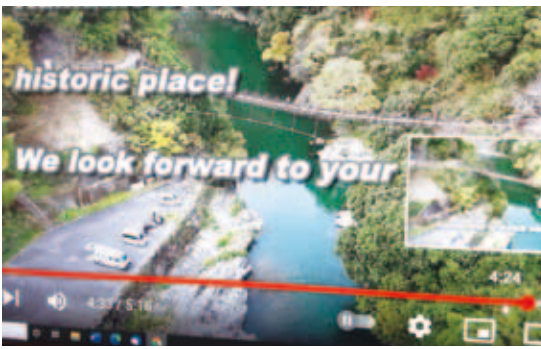
また、紅葉の時期には、天気予報の解説での「今が立神峡は紅葉が見頃です。」のひと言で、観光客がどっと押し寄せました。

また、ドローンによる英語版もYouTubeにより連日流れており、その4K画像の美しさで世界中の人たちから多くのコメントが寄せられております。

このように今後もさらに知名度を高め、日本および世界中から立神峡公園を訪れる人を増やし、その波及効果として、氷川町の特産品が売れて、売り上げが伸ばせれば本望です。

スタッフ一同、今年も公園整備に万全を期すことをお約束いたします。

新年を初日の出を拝みながら、年末年始を立神峡で迎える人が多く満室で、正月休みを返上して営業をしておりますので、ぜひ、お立ち寄りください。



氷川の将来を担う子どもたちが次々と来園 今年から新一年生

立神峡には毎日さまざまな団体個人が訪れます。特に、幼稚園児や小学生の見学が相次いでおります。

そんな中であって、有佐地区にある宮原慈光保育園の園児と先生たちが昨年、公園を訪れ、吊り橋渡りやかまどご飯作りなどを体験。子どもたちの屈託のない笑顔・質問にとても癒されますが、園児たちの礼儀正しい動作には本当に感心しました。今年から新一年生との事。

氷川町の将来を担う子どもたちの希望に満ち、好奇心旺盛な姿が、春には新入学を迎え元気に登校することをここ立神峡から祈っています。

また、ここでの思い出を胸に大きく羽ばたいてもらいたいと思います。



今年も管理棟には花が飾られ観光客をおもてなし

毎年、管理棟には氷川町担い手グループの人たちが植栽したプランターが届きます。

観光客が管理棟を訪れた際に、きれいな花があると癒されます。それと合わせて、こちらでもプランターに花を植えるために、冬の寒い中でも玄関の周りは花がいっぱいです。

氷川町の皆さまに愛され観光客の心を和ましながら、親しまれる公園づくりに邁進することをお誓いします。



【お問い合わせ先】 立神峡公園管理棟
☎ 62-1543 FAX62-1546 (8:30~17:30 火曜定休日)



◀立神峡里地公園 HP